



\*本リリースは4月10日に米国アトランタで発表されたリリースの翻訳です。

2024年4月12日

## デルタ航空、2024年第1四半期の業績を発表

- 業界トップの運航実績と第1四半期としては最も高いコンプライアンスファクターを達成
- 第1四半期の収益・利益は予測値範囲の最高値を実現
- 第2四半期は過去最高の収益、10%台半ばの営業利益率、2.20~2.50ドルのEPSを予測
- 2024年通年のEPS予測は6~7ドル、フリーキャッシュフロー予測は30億~40億ドル

【米国アトランタ、2024年4月10日】 – デルタ航空（NYSE:DAL）は、3月を期末とする2024年第1四半期の業績と第2四半期の業績予測を発表しました。GAAP基準および調整済みの結果を含む、デルタ航空の2024年第1四半期の業績を5ページに記載します。概要は以下のとおりです。

デルタ航空の最高経営責任者、エド・バステアン（Ed Bastian）は次のように述べています。「デルタ航空の10万人のスタッフのまれにみる働きにより、デルタ航空は史上で最も高い運航の信頼性を達成し、競合他社との差を拡大しました。第1四半期中に14億ドルをプロフィットシェアリング（従業員向け利益分配プログラム）として従業員に支給し、彼らの努力に報いることができたことを大変うれしく思っています。」

「第1四半期中には非常に素晴らしい運航実績を達成し、大幅な利益増が実現しました。今後もこのような好業績を継続し、第2四半期には記録的な収益、10%台半ばの営業利益率、1株当たり2.20~2.50ドルの利益を達成できると考えています。また通年の利益目標である1株当たり6~7ドル、30~40億ドルのフリーキャッシュフローについても確実に達成できると見えています。」

### 2024年第1四半期（1月~3月期）のGAAP業績結果

- 営業収益は137億ドル
- 営業利益は6億1400万ドル、営業利益率は4.5%
- 税引前営業利益は1億2200万ドル、税引前営業利益率は0.9%
- 1株当たりの利益は0.06ドル
- 営業活動によるキャッシュフローは24億ドル
- 負債とファイナンスリースの債務支払い合計は7億1200万ドル
- 四半期末の負債とファイナンスリースの債務合計は194億ドル

### 2024年第1四半期（1月~3月期）の調整済み業績結果

- 営業収益は126億ドルで2023年同期比6%増
- 営業利益は6億4000万ドル、営業利益率は5.1%
- 税引前営業利益は3億8000万ドル、税引前営業利益率は3.0%
- 1株当たりの利益は0.45ドル
- 営業活動によるキャッシュフローは25億ドル
- フリーキャッシュフローは14億ドル
- EBITDARに対する調整済み負債の比率は2.9倍で、2023年末の3倍から低下
- 過去5四半期の平均値に対する投下資本利益率は13.8%で、前年よりも2.8ポイント上昇

## 業績予測<sup>1</sup>

2024 年通年予測	
一株当たり利益	\$6 - \$7
フリーキャッシュフロー（単位：10 億ドル）	\$3 - \$4
EBITDAR に対する調整済み負債の比率	2 倍～3 倍

  

2024 年第 2 四半期予測	
収益合計、前年比	5% - 7% 増
営業利益率	14% - 15%
一株当たり利益	\$2.20 - \$2.50

<sup>1</sup> 非 GAAP 指標; 過去との比較は非 GAAP 調整を参照

財務モデルの追加指標は [ir.delta.com](http://ir.delta.com) に掲載された四半期業績の補足情報部分をご参照ください。

### 収益環境と予測

デルタ航空の社長、グレン・ホーエンスタイン（Glen Hauenstein）は次のように述べています。「第 1 四半期の収益は前年度比で 6% 増加し、最高記録を達成しました。単位収益合計（TRASM）は昨年と比べて 0.7% 低下しましたが、これは貨物と MRO の 1 ポイント近い減少によるものでした。結果的には予測値内の最高値を達成し、2023 年第 4 四半期から 3 ポイント増加しました。」

「デルタ航空便の需要は第 2 四半期中も堅調で、前年同期比で収益合計が 5～7% 増加する見込みです。なお単位収益合計（TRASM）は同程度～2% 減少となる見込みです。これにより、ラテンアメリカ以外のすべての地域で昨年とほぼ同等の単位収益を達成できると考えています。ラテンアメリカについては堅調な業績を予測していますが、ネットワークへの投資を継続しているため 2 桁の減少を見込んでいます。」

- **史上最高の第 1 四半期収益：** 最高クラスの運航実績と堅調な需要トレンドに後押しされ、第 1 四半期の収益は 2023 年よりも 6% 増加しました。コンプライアンスファクターと定時運航率で業界をリードし、第 1 四半期中にデルタ・コネクションを含むすべての便で無欠航を達成した日数は 26 日でした。調整済みの単位収益合計（TRASM）は 2023 年第 4 四半期から連続で 3 ポイント増加しましたが、貨物と MRO の 1 ポイント近い減少により年間では 0.7% の減少になりました。
- **法人需要の加速：** コーポレートセールス\*は前年比 14% の伸びを達成しました。これはテクノロジー、コンシューマーサービス、金融サービス部門を中心とした大手法人顧客の利用が回復したことによるものです。最近の企業向け調査結果によると、企業の 90% が 2024 年第 2 四半期中の航空機利用による出張ニーズが横這いまたは増加すると回答しています。
- **堅調な需要により米国内線の業績が改善：** 米国内線の単位収益は第 1 四半期としては前年比 3% で過去最高を達成し、米国内線のロードファクターも最高を記録しました。単位収益は 2023 年第 4 四半期と比べて 7 ポイント改善し、第 1 四半期の業績を押し上げました。
- **海外旅行需要も引き続き堅調：** 海外旅客収益は 2023 年第 4 四半期と比べて 12% 増加し、大西洋路線の旅客単位収益（PRASM）は 2% 増加しました。ラテンアメリカと太平洋路線の再編への投資に伴い、輸送容量が 16% 増加したため、海外旅客単位収益は 3% 減少しました。
- **収益の多様化による差別化：** 第 1 四半期中はロイヤルティ（マイルージプログラム）、プレミアムプロダクト（デルタ・ワン、デルタ・プレミアムセレクト、デルタ・コンフォートプラスおよび米国内線のファーストクラス）、貨物、MRO などの多様な収益源が収益合計の 57% を占めました。プレミアムプロダクトの収益は 2023 年第 4 四半期から 10% 増加し、引き続きメインキャビンによる収益を上回っています。提携クレジットカードの継続的な売上増とプレミアムカードの比率増加により、ロイヤルティによる収益は 12% 増加しました。当四半期中のアメリカン・エクスプレス分の収益は 17 億ドルで、2023 年第 1 四半期と比べて約 5% 増加しました。

\*コーポレートセールスには法人契約顧客向けチケット売上が含まれており、当該期間とそれ以外のチケットも含まれています。

## コストパフォーマンスと予測

デルタ航空の最高財務責任者、ダン・ジャンキ（Dan Janki）は次のように述べています。「第1四半期中に3億8000万ドルの税引前利益を達成しました。これは前年比1億6300万ドルの増加を意味します。優れた運航実績によって第1四半期のコンプライアンスファクターは史上最高を記録しました。輸送容量が増加し、燃料以外の単位コストが前年と比べて1.5%増加しましたが、単位コストへの影響は軽微でした。」

「業績の伸びが定常的になり、楽観的な見方ができるようになった今、最も収益性の高いハブ空港に重点を置き、収益の効率を高める所存です。第2四半期の燃料以外の単位コストは約2%増加する見込みです。これは2023年比で燃料以外の単位コストの増加を一桁台前半に抑えるという通年予測に即しています。」

### 2024年第1四半期のコストパフォーマンス

- 営業経費は131億ドル、調整済み営業経費合計は119億ドル
- 燃料を除く調整済みコストは92億ドル
- 燃料以外のCASMは14.08セントで、前年比1.5%の増加
- 調整済みの燃料費は26億ドル、前年比5%の減少
- 精油所による利益分5セントを含む1ガロン当たり調整済み燃料費は2.76ドルで、前年比10%の減少
- 1,000ASM当たりのガロン数として定義される燃料効率は14.2で、前年比で1.9%改善

### バランスシート、キャッシュと流動性

デルタ航空の最高財務責任者、ダン・ジャンキ（Dan Janki）は次のように述べています。「デルタ航空は第1四半期中に従業員に対して10億ドル以上のプロフィットシェアリング支払いを行い、ビジネスへの再投資も11億ドル実施しました。その結果、当四半期中のフリーキャッシュフローは14億ドルになりました。10億ドル近い負債を支払い、レバレッジの2.9倍で当四半期を終えました。」

「今年中に少なくとも40億ドル以上の負債を支払う予定で、通年のレバレッジ改善予測に即しています。当四半期中にムーディーズとフィッチによるプラスの評価予測がなされたことでバランスシート強化に対するデルタ航空のコミットメントが認められ、投資グレードの評価に向けた継続的な改善が明確になりました。」

- 第1四半期末時点の調整済み正味負債額は202億ドルで、2023年末から12億ドル減少
- 第1四半期の負債とファイナンスリースの債務支払い合計は7億1200万ドル
- 加重平均利率は4.5%で91%が固定金利の負債、9%が変動金利の負債
- 当四半期中の調整済みの営業活動によるキャッシュフローは25億ドルで、総資本支出が11億ドル、フリーキャッシュフローが14億ドルだった
- 四半期末のエアートラフィックライアビリティは102億ドルで、2023年末と比べて31億ドル（45%）増加した
- 四半期末の流動性資産は74億ドル（リボルビング与信枠残高29億ドルを含む）  
\*現金と現金同等物、短期投資およびリボルビング与信枠残高を含む

### 2024年第1四半期のその他概要

#### 運航、ネットワークと機材

- 当四半期中のコンプライアンスファクターと定時到着率は競合他社の中でトップで、最も高い運航信頼性を達成しました。第1四半期としてはデルタ航空史上最も高いコンプライアンスファクターを記録しました。<sup>1</sup>
- ウォールストリートジャーナル紙から3年連続で米国のトップエアラインに選ばれました。定時到着率、搭乗拒否数など、7つのカテゴリーのうち3つで第1位を獲得しました。
- デルタ航空の優れた運航業績、安全性と卓越したカスタマーサービスへのコミットメントが認められ、航空業界誌、エアートランスポートワールド誌から2024年のエアライン・オブ・ザ・イヤーに選ばれました。
- 従来機よりも燃料効率が25%以上高いエアバスA321neo型機およびエアバスA220-300型機を含む航空機を新たに7機納入しました。
- ニューヨーク（JFK）とテルアビブ（TLV）間のデイリー便を6月に再開することを発表しました。

## 企業カルチャーと人材

- 2023年の優れた業績に報いるため、バレンタインデーにデルタ航空従業員に対して14億ドルのプロフィットシェアリングを実施しました。
- フォーチュン誌による「世界で最も賞賛される企業」リストの第11位に選ばれました。
- フォーチュン誌による「最も働きやすい企業100社」リストにも掲載されました。
- フォーブズ誌による「アメリカで最も優れた雇用主」リストの第5位に選ばれました。米国在住の17万人以上の労働者へのインタビューで600社から選出されました。
- ボランティアイベントにおいて、デルタ航空の従業員およびスカイマイル会員とともにアトランタ・コミュニティ・フードバンクとの40年に及ぶパートナーシップを祝いました。
- デルタ航空の従業員はキング牧師記念日にニューヨーク市クイーンズのフラッシング・メドウズ・パークとアトランタ州のベルトラインでの清掃イベントに参加することでキング牧師の功績を称えました。

## カスタマーエクスペリエンスとロイヤルティ

- デルタ航空のご利用や、ホテル滞在、レンタカー、レストランでの体験を向上するために、デルタ航空の提携クレジットカードに新たな特典を追加しました。
- アメリカン・エクスプレス分の四半期収益が史上最高を達成し、プレミアムカードの新規会員数も増加しました。
- 機内高速無料Wi-Fiの導入が評価され、ファスト・カンパニーによる「最も革新的な企業」の旅行部門で第2位を獲得しました。
- 機内食トップエアラインの「食事とワイン」部門で米国の航空会社として唯一第10位にランクインしました。
- 650機以上の航空機に高速無料Wi-Fiとデルタ・シンク（Delta Sync）の導入を拡大しました。
- 2024年6月に、ニューヨーク（JFK）空港に最大の「プレミアムラウンジ」を新設することを発表しました。38,000平方フィート（約3530平米）に及ぶこのラウンジには通年利用可能なテラスが設けられます。
- SXSW フェスティバルにポップアップのラウンジを設置し、同イベントに参加するスカイマイル会員にアクセスを提供しました。

## 環境、社会、およびガバナンス

- 航空機の最新化や社内のサステナビリティ強化の取り組みにより、第1四半期中に燃料効率を前年比1.9%向上しました。
- ミネソタ SAF ハブ（Minnesota SAF Hub）の創設メンバーであるデルタ航空は、ミネソタ州にある専用のATJ（alcohol-to-jet）燃料精油所のサイト選択調査のための申請書発行でグレーターMSP地域をサポートしました。
- デルタ航空は米国陸軍のPaYSプログラムと戦略的なパートナーシップを締結しました。これにより複数の企業と協力して、軍人やROTC士官候補生が退役後に面接やフルタイムの仕事の機会を得られるようにサポートしています。
- デルタ航空とラム航空はニューワールド・スクール・オブ・ザ・アート校と連携し、同校の生徒達がマイアミ国際空港での職業体験日を単独開催できるように支援し、航空業界でのキャリア機会を紹介しました。
- 「デルタ・ビジネスクラス」と呼ばれるスポーツビジネスイマージョンプログラムを導入しました。これはプロスポーツチームとデルタ航空のパートナーシップを活用して、4つの大学（HBCUs）の学生達がスポーツ関連のキャリアを追求できる機会を提供するものです。

<sup>1</sup>2024年1月1日～3月31日までのデルタ航空主要路線システムとFlightStats 予備データ対象データセット（AA、UA、B6、AS、WN、DL）との比較結果に基づく。定時はA0と定義される。

## 2024年第1四半期（1～3月期）の業績

第1四半期の業績は主としてサードパーティへの精油所売上、投資含み益/損、負債償還による損失、注Aに記載された理由により調整されています。

(株式データを除き単位は百万ドル)	GAAP			
	2024年 第1四半期	2023年 第1四半期	\$増減	%増減
営業利益/ (損失)	614	(277)	891	NM
営業利益率	4.5 %	(2.2)%	6.7 pts	NM
税引前利益/ (損失)	122	(506)	628	NM
税引前利益率	0.9 %	(4.0)%	4.9 pts	NM
純利益/ (損失)	37	(363)	400	NM
1株当たり希釈利益/ (損失)	0.06	(0.57)	0.63	NM
営業収益	13,748	12,759	989	8 %
有効座席マイル当たりの売上合計 (TRASM) (セント)	20.98	20.80	0.18	1 %
営業経費	13,134	13,036	98	1 %
有効座席マイル当たりのコスト (CASM) (セント)	20.04	21.25	(1.21)	(6)%
燃料費	2,598	2,676	(78)	(3)%
1ガロン当たりの平均燃料価格	2.79	3.01	(0.22)	(7)%
営業キャッシュフロー	2,408	2,235	173	8 %
資本支出	1,193	1,000	193	19 %
負債とファイナンスリースの債務合計	19,364	21,958	(2,594)	(12)%

(株式データを除き単位は百万ドル)	調整済み			
	2024年 第1四半期	2023年 第1四半期	\$増減	%増減
営業利益	640	546	94	17 %
営業利益率	5.1 %	4.6 %	0.5 pts	11 %
税引前利益	380	217	163	75 %
税引前利益率	3.0 %	1.8 %	1.2 pts	67 %
純利益	288	163	125	77 %
1株当たり希釈利益	0.45	0.25	0.20	80 %
営業収益	12,563	11,842	721	6 %
TRASM (セント)	19.17	19.30	(0.13)	(0.7)%
営業経費	11,923	11,296	627	6 %
燃料以外の費用	9,227	8,506	721	8 %
燃料以外の単位コスト (CASM-Ex) (セント)	14.08	13.86	0.22	1.5 %
燃料費	2,571	2,718	(147)	(5)%
1ガロン当たりの平均燃料価格	2.76	3.06	(0.30)	(10)%
営業キャッシュフロー	2,478	2,942	(464)	(16)%
フリーキャッシュフロー	1,378	1,853	(475)	(26)%
資本支出合計	1,110	1,090	20	2 %
調整済み純負債	20,219	20,964	(745)	(4)%

## デルタ航空について

デルタ航空（NYSE: DAL）は心のこもった温かみのあるサービスとイノベーションの力で、すべてのお客様に合った旅の形を追求しています。

毎日 4,000 便以上のデルタ航空便が 6 つの大陸、290 ヶ所以上の人々をつないでおり、デルタ航空の 10 万人以上の社員が世界トップクラスのカスタマーエクスペリエンスを提供しています。

デルタ航空は 2023 年に 1 億 9 千人以上のお客様に安全で信頼性の高いサービスを提供しており、業界をリードする優れたカスタマーエクスペリエンス、イノベーションを誇っています。デルタ航空は[シリウム社により、北米で最も定時運航率の高い航空会社選ばれています](#)。お客様一人ひとりに合った接続性が高く楽しい旅にすること、そして旅のあらゆる場面ですべてのお客様を温かくもてなし、大切に接すること、それが私たちデルタ航空の揺るぎない信念です。

アトランタに本社を置くデルタ航空はアムステルダム、アトランタ、ボゴタ、ボストン、デトロイト、ロンドン（ヒースロー）、ロサンゼルス、メキシコシティ、ミネアポリス/セントポール、ニューヨーク（JFK およびラガーディア）、パリ（シャルルドゴール）、ソルトレイクシティ、サンティアゴ（チリ）、サンパウロ、シアトル、ソウル（インチョン）、東京を主要なハブ空港および市場として運航しています。

世界をリードする航空会社として、デルタ航空は世界中の人々やコミュニティ、潜在能力をつなぐことで機会創出、理解促進、可能性拡大を目指しています。

エアロメヒコ航空、エールフランス-KLM 航空、中国東方航空、大韓航空、ラタム航空、ヴァージン アトランティック航空、ウェストジェット航空との画期的で戦略的なパートナーシップにより、デルタ航空は世界中のお客様に、より多くの優れた選択肢を提供しています。デルタ航空のプレミアムプロダクトはウィールズアップとのユニークなパートナーシップによってレベルアップしています。

プロフェッショナルで熱心な従業員に恵まれたデルタ航空は、米国で最も受賞歴の多い航空会社です。シリウム社には優れた運航実績が評価され、ウォールストリートジャーナル紙には「米国で最も優れた航空会社」として認められています。ファストカンパニー社には「最も革新的な企業」の 1 つとして選ばれ、フォーチュン誌には「世界で最も賞賛される航空会社」と評価され、グラスドアの「最も働きやすい企業」の 1 つにも選ばれています。フォーブス誌には多様性に配慮した雇用、退役軍人の雇用、女性に最適な職場の観点でトップ企業と評価されています。

## 将来予想に関する記述

弊社の将来的な推定値、期待値、信条、意図、予測、戦略など、歴史的な事実ではないこのプレスリリースにおける記述は、1993 年の証券法とその改定版、1934 年の証券取引法とその改定版、1995 年私募証券訴訟改革法で定義されている「将来予想に関する記述」と見なす必要があります。この種の記述内容は保証されておらず、成果を約束するものではありません。すべての将来予想に関する記述には複数のリスクと不確定要素が関連しており、将来予測に関する記述で反映または示唆された推定値、期待値、信条、意図、予測、目標、願望、コミットメント、戦略と大きく異なる場合があります。実績と将来予想に関する記述の間に相違を発生させる危険性および不確実性には、弊社または弊社のパートナー企業の航空機が関与する重大事故によって発生する可能性のある影響、弊社が使用、依存している技術システムとそこに保存されているデータのセキュリティ侵害または不備、常に進化する全世界のプライバシーおよびセキュリティ規制へのコンプライアンス不足、あるいはプライバシー問題やデータセキュリティに関して高まる顧客の懸念への対応不足、弊社の情報技術インフラストラクチャの中断、弊社の運営上の技術依存度、航空燃料費用の増加、トレーナー精油所で稼働するデルタ航空の完全子会社である Monroe Energy, LLC（「モンロー」からの供給）を含む航空燃料供給の長期的な停止、他国の航空会社とのビジネス上の関係および当該企業への投資による成果や利益の逸失、弊社が依存している第三者の業務上または経営上の深刻な中断による影響、融資契約に記載された財務その他の規定の違反、労働問題、悪天候、自然災害、気候変動による影響によるものを含むその他の環境事象など、季節性やその他制御不能な要因が弊社事業に及ぼす影響、モンロー精油所での大規模な損害賠償に対する保険適用能力の欠如、再生可能燃料標準規制遵守に関連するコストなど、モンロー精油所が既存および将来的な環境規制に違反したことによる影響、企業としての評判やブランドが大きく棄損される行為（大規模な非難や中傷のリスクや特定の持続性目標達成失敗など）、弊社の経営陣およびその他主要な社員および企業カルチャーを維持する能力、COVID-19 パンデミックや類似の公共衛生を脅かすような病気の発生とその対策、テロ攻撃や地域紛争、セキュリティ事象による影響、航空産業における競争状態、弊社が就航している主要空港におけるサービスの長期的な中断または混乱、運用している航空機やエンジンの種類に関連する深刻な問題、弊社事業に対する大幅な行政規制の影響、弊社事業に対する環境規制厳格化（有害物質規制、二酸化炭素排出量規制の強化、気象変動関連の他のリスク、環境規制厳格化へのコンプライアンスに伴うコストなど）による影響、弊社が事業を展開している市場の経済状況または政治悪化、外国為替レートの変動がありますが、これらに限定されません。

実績と将来予想に関する記述の間に相違を発生させる、危険性および不確実性に関する追加情報については、2023 年 1 月 1 日～12 月 31 日会計年度の Form 10-K に記載された弊社の年次報告など、弊社の米国証券取引委員会関連ファイルに記載されています。なお弊社の将来予測に関する記述は本プレスリリース発行日現在の弊社の観点を示すもので、現時点では法律で定められた場合を除き、更新の意図がないため、過度に依存することのないようご注意ください。

デルタ航空  
連結損益計算書  
(未監査)

(株式データを除き単位は百万ドル)	3月31日までの 3ヶ月間		\$増減	%増減
	2024年	2023年		
<b>営業収益：</b>				
旅客	\$ 11,131	\$ 10,411	\$ 720	7%
貨物	178	209	(31)	(15)%
その他	2,439	2,139	300	14%
営業収益合計	13,748	12,759	989	8%
<b>営業経費：</b>				
給与および関連コスト	3,791	3,386	405	12%
航空機用燃料と関連税	2,598	2,676	(78)	(3)%
付属事業と精油所	1,370	1,125	245	22%
委託サービス	1,024	1,010	14	1%
着陸料およびその他賃料	748	584	164	28%
航空機メンテナンス材料および外部修理	679	585	94	16%
減価償却	615	564	51	9%
地方路線キャリア費用	550	559	(9)	(2)%
旅客コミッションおよびその他販売経費	550	500	50	10%
旅客サービス	413	416	(3)	(1)%
航空機賃料	136	132	4	3%
プロフィットシェアリング	125	72	53	74%
パイロット契約と関連する費用	—	864	(864)	NM
その他	535	563	(28)	(5)%
営業経費合計	13,134	13,036	98	1%
<b>営業利益/ (損失)</b>	614	(277)	891	NM
<b>営業外経費：</b>				
支払い利子、正味	(205)	(227)	22	(10)%
投資による利益 (損失)、正味	(227)	122	(349)	NM
負債償還による損失	(4)	(22)	18	(82)%
雑勘定、正味	(56)	(102)	46	(45)%
営業外経費合計、正味	(492)	(229)	(263)	NM
<b>所得税引前利益/ (損失)</b>	122	(506)	628	NM
<b>所得税 (引当) /控除</b>	(85)	143	(228)	NM
<b>純利益/ (損失)</b>	\$ 37	\$ (363)	\$ 400	NM
<b>一株当たり基本利益/ (損失)</b>	\$ 0.06	\$ (0.57)		
<b>一株当たり希釈利益/ (損失)</b>	\$ 0.06	\$ (0.57)		
<b>株式発行高基本加重平均</b>	640	639		
<b>株式発行高希釈加重平均</b>	645	639		

デルタ航空  
旅客収益  
(未監査)

(単位：百万ドル)	3月31日までの			
	3ヶ月間			
	2024年	2023年	\$増減	%増減
チケット - Main cabin	\$ 5,425	\$ 5,223	\$ 202	4 %
チケット - プレミアムプロダクト	4,408	4,016	392	10 %
ロイヤルティラベルアワード	844	743	101	14 %
旅行関連サービス	454	429	25	6 %
<b>旅客収益</b>	<b>\$ 11,131</b>	<b>\$ 10,411</b>	<b>\$ 720</b>	<b>7 %</b>

デルタ航空  
その他収益  
(未監査)

(単位：百万ドル)	3月31日までの			
	3ヶ月間			
	2024年	2023年	\$増減	%増減
精油所	\$ 1,185	\$ 916	\$ 269	29 %
ロイヤルティプログラム	795	726	69	10 %
附属事業	180	231	(51)	(22)%
雑勘定	279	266	13	5 %
<b>その他収益</b>	<b>\$ 2,439</b>	<b>\$ 2,139</b>	<b>\$ 300</b>	<b>14 %</b>

デルタ航空  
収益合計  
(未監査)

収益	増(減)				
	2024年 第1四半期 (百万ドル)	2024年第1四半期と2023年第1四半期の比較			
		増減	単位収益	イールド	輸送容量
米国内線	\$ 7,983	5%	3%	—%	2%
大西洋路線	1,305	5%	2%	(1)%	2%
中南米路線	1,265	12%	(12)%	(12)%	27%
太平洋路線	578	31%	(4)%	(2)%	36%
<b>旅客収益</b>	<b>\$ 11,131</b>	<b>7%</b>	<b>—%</b>	<b>(2)%</b>	<b>7%</b>
<b>貨物収益</b>	<b>178</b>	<b>(15)%</b>			
<b>その他収益</b>	<b>2,439</b>	<b>14%</b>			
<b>収益合計</b>	<b>\$ 13,748</b>	<b>8%</b>	<b>1%</b>		
サードパーティの精油所売上	(1,185)				
<b>収益合計、調整済み</b>	<b>\$ 12,563</b>	<b>6%</b>	<b>(0.7)%</b>		

**デルタ航空  
統計サマリー  
(未監査)**

	3月31日までの		
	3ヶ月間		増減
	2024年	2023年	
旅客マイル売上 (百万)	54,207	49,687	9 %
有効座席マイル (百万)	65,542	61,351	7 %
旅客マイル利回り (セント)	20.53	20.95	(2) %
有効座席マイル当たりの旅客売上 (セント)	16.98	16.97	— %
有効座席マイル当たりの売上合計 (セント)	20.98	20.80	1 %
調整済み TRASM - 注 A 参照 (セント)	19.17	19.30	(0.7) %
有効座席マイル当たりのコスト (セント)	20.04	21.25	(6) %
CASM-Ex - 注 A 参照 (セント)	14.08	13.86	1.5 %
搭乗率	83 %	81 %	2 pts
消費燃料 (百万ガロン)	931	888	5 %
1 ガロン当たりの平均燃料価格	\$ 2.79	\$ 3.01	(7) %
燃料 1 ガロン当たり平均価格、調整済み - 注 A 参照	\$ 2.76	\$ 3.06	(10) %

**デルタ航空**  
**連結キャッシュフロー計算書**  
**(未監査)**

3月31日までの3ヶ月間

(単位：百万ドル)

2024年                      2023年

**営業活動によるキャッシュフロー：**

純利益/（損失）	\$ 37	\$ (363)
減価償却	615	564
エアートラフィックライアビリティの変更分	3,149	2,927
プロフィットシェアリングの変更分	(1,259)	(491)
バランスシートその他の変更、正味	(134)	(402)
<b>営業活動によるキャッシュフロー、正味</b>	<b>2,408</b>	<b>2,235</b>

**投資活動によるキャッシュフロー：**

不動産と機材の追加：

前払い金を含む航空機材	(883)	(630)
不動産および技術を含む装置	(310)	(370)
短期投資の購入	—	(999)
短期投資の償還	546	897
その他、正味	10	2
<b>投資活動に使用したキャッシュフロー、正味</b>	<b>(637)</b>	<b>(1,100)</b>

**財務活動によるキャッシュフロー：**

負債とファイナンスリースの債務返済	(712)	(1,166)
配当金	(64)	—
その他、正味	(11)	(13)
<b>財務活動に使用したキャッシュフロー（正味）</b>	<b>(787)</b>	<b>(1,179)</b>

**現金と現金同等物、制限付き預金の増加／（減少）（正味）**

現金と現金同等物、制限付き預金の増加／（減少）（正味）	984	(44)
期首時の現金および現金同等物、制限付き預金	3,395	3,473
期末時の現金および現金同等物、制限付き預金	<b>\$ 4,379</b>	<b>\$ 3,429</b>

以下の表は、連結バランスシートに記載した現金、現金同等物、制限付き預金を、上記に記載した各合計金額と照合したものです。

**流動資産：**

現金等価額	\$ 3,877	\$ 3,215
前払い費用その他に含まれている制限付き預金	126	160

**その他の資産：**

他の非流動資産に含まれている制限付き預金	376	54
現金、現金同等物、および制限付き預金合計	<b>\$ 4,379</b>	<b>\$ 3,429</b>

**デルタ航空**  
**連結バランスシート**  
**(未監査)**

(単位：百万ドル)	2024年 3月31日	2023年 12月31日
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産：</b>		
現金等価額	\$ 3,877	\$ 2,741
短期投資	589	1,127
売掛金、正味	3,748	3,130
燃料在庫、拡張可能部品および備品在庫、正味	1,452	1,314
前払い費用とその他の項目	1,913	1,957
流動資産合計	<u>11,579</u>	<u>10,269</u>
<b>不動産と機材、正味：</b>		
不動産と機材、正味	<u>35,915</u>	<u>35,486</u>
<b>その他の資産：</b>		
オペレーティングリースの使用権資産	6,785	7,004
営業権	9,753	9,753
識別可能な無形資産、正味	5,981	5,983
株式投資	3,247	3,457
その他の固定資産	1,709	1,692
その他の資産合計	<u>27,475</u>	<u>27,889</u>
資産合計	<u>\$ 74,969</u>	<u>\$ 73,644</u>
<b>負債および資本の部</b>		
<b>流動負債：</b>		
負債とファイナンスリース返済	\$ 2,809	\$ 2,983
オペレーティングリースの当期満期分	742	759
エアトラフィックライアビリティ	10,193	7,044
買掛金	4,541	4,446
未払い給与と関連する福利厚生	3,037	4,561
ロイヤルティプログラム繰延収益	4,018	3,908
給油カード債務	1,100	1,100
その他の未払い負債	2,038	1,617
流動負債合計	<u>28,478</u>	<u>26,418</u>
<b>非流動負債：</b>		
負債およびファイナンスリース	16,555	17,071
年金、退職後、および関連する福利厚生	3,524	3,601
ロイヤルティプログラム繰延収益	4,523	4,512
当期満期分以外のオペレーティングリース	6,203	6,468
繰延所得税、正味	994	908
その他の非流動負債	3,541	3,561
非流動負債合計	<u>35,340</u>	<u>36,121</u>
<b>コミットメントと有事への対応</b>		
<b>自己資本：</b>		
	11,151	11,105
負債および資本合計	<u>\$ 74,969</u>	<u>\$ 73,644</u>

注 A : GAAP に基づかない財務措置の調整内容を下表に示します。また、デルタ航空がそのような措置を講じる理由について、以下に説明します。丸め処理によって計算結果が一致しないことがあります。

デルタ航空では「連結財務諸表」から派生する情報（GAAP に基づかない財務措置）を利用する場合がありますが、それは米国で一般に公正妥当と認められた会計原則（GAAP）に従って提示されていません。証券取引委員会の規定に基づき、GAAP に基づかない財務措置は、GAAP に従って準備された結果とともに考慮すべきですが、GAAP の結果に代わるもの、あるいはそれよりも優れたものとして考えるべきではありません。本書で使用している GAAP に基づかない財務措置を、最も類似する GAAP 財務措置と比較した調整内容を下表に示します。

**将来予測** : 以下を含む調整項目は期末まで不明で多額な場合があるため、デルタ航空では GAAP に基づかない財務措置による将来的な調整を容易に行うことができません。

**調整** : この種の調整には GAAP 指標に対する特定の調整を含んでいます。該当する場合、こうした調整は以下のような理由で対象となる期間の比較を容易にするために行っています。

サードパーティへの精油所売上 : サードパーティへの精油所売上と関連費用は航空セグメントとは無関係です。したがってこうした売上を除くことは、デルタ航空の航空事業による売上を航空業界の他社と比較する上で有意義なものになります。

ヘッジの MTM 調整および支払額 : 評価替え（「MTM」）調整額とは、決算期以外の期間に記録された評価額の変化を指します。こうした評価額の変化は、必ずしも約定取引期間内の基礎となるヘッジの実際の支払額を示すものではありません。したがってこうした影響を排除することで投資家の皆様が弊社の主要な業績を理解・分析しやすくなります。支払額とは該当する期間中にヘッジ契約に対して受領または支払った現金を指します。

パイロット契約に伴う一回限りの費用 : 2023 年第 1 四半期中にデルタ航空のパイロットは 2023 年 1 月 1 日から新たに有効な 4 年間のパイロット雇用契約を承認しました。この契約には 2023 年の第 1 四半期中の承認時に一時金として 7 億 3500 万ドルを支払うことも定められています。さらに他の福利厚生項目として約 1 億 3000 万ドル分の調整も計上しました。この種の費用の調整は、投資家の皆様が弊社の主要な業務実績を理解・分析するのに役立ちます。

投資の MTM 調整 : 株式投資による未実現損益の評価額を営業外費用に計上しています。損益は株式の価格、外国為替の変動、特定企業（特に株式未公開の企業）への投資についてはその他の評価方法によっても変動します。投資家の皆様が弊社の主要な業務実績をより良く理解・分析できるように、この種の利益／損失調整を行っています。

負債の償却による損失 : この調整は負債の早期償還に関連するものです。投資家の皆様が弊社の主要な業務実績をより良く理解・分析できるように、この種の損失を調整しています。

#### 調整済み営業収益、および調整済み有効座席マイル当たりの収益合計（TRASM）

(単位：百万ドル)	2024 年 3 月 31 日 までの 3 ヶ月間			2023 年 6 月 30 日 までの 3 ヶ月間			2024 年 第 1 四半期と 2023 年 第 1 四半期の 比較 %増減	
	2024 年 3 月 31 日 までの 3 ヶ月間	2023 年 6 月 30 日 までの 3 ヶ月間	2023 年 3 月 31 日 までの 3 ヶ月間					
営業収益	\$ 13,748	\$ 15,578	\$ 12,759					
以下調整済み：								
サードパーティへの精油所売上	(1,185)	(965)	(916)					
調整済み営業収益	\$ 12,563	\$ 14,613	\$ 11,842				6 %	

	2024 年 3 月 31 日 までの 3 ヶ月間			2023 年 12 月 31 日 までの 3 ヶ月間			2023 年 6 月 30 日 までの 3 ヶ月間		2023 年 3 月 31 日 までの 3 ヶ月間		2022 年 12 月 31 日 までの 3 ヶ月間		2024 年 第 1 四半期と 2023 年 第 1 四半期の 比較 %増減		2023 年 第 4 四半期と 2022 年 第 4 四半期の 比較 %増減	
	2024 年 3 月 31 日 までの 3 ヶ月間	2023 年 12 月 31 日 までの 3 ヶ月間	2023 年 6 月 30 日 までの 3 ヶ月間	2023 年 3 月 31 日 までの 3 ヶ月間	2022 年 12 月 31 日 までの 3 ヶ月間											
TRASM (セント)	20.98	20.78	22.58	20.80	22.58											
以下調整済み：																
サードパーティへの精油所売上	(1.81)	(0.82)	(1.40)	(1.49)	(1.92)											
調整済み TRASM	19.17	19.95	21.18	19.30	20.66									(0.7) %	(3) %	

## 調整済み営業利益

(単位：百万ドル)	2024年3月31日		2023年3月31日	
	までの3ヶ月間		までの3ヶ月間	
営業利益/ (損失)	\$	614	\$	(277)
以下調整済み：				
ヘッジの MTM 調整および支払額		27		(41)
パイロット契約の一回限りの費用		—		864
調整済み営業利益	\$	640	\$	546

## 調整済み営業利益率

	2024年3月31日		2023年3月31日	
	までの3ヶ月間		までの3ヶ月間	
営業利益率		4.5 %		(2.2) %
以下調整済み：				
サードパーティへの精油所売上		0.4		0.3
ヘッジの MTM 調整および支払額		0.2		(0.3)
パイロット契約の一回限りの費用		—		6.8
調整済み営業利益率		5.1 %		4.6 %

## 税引前利益/ (損失)、純利益/ (損失)、および一株当たり希釈利益/ (損失)、調整済み：

(株式データを除き単位は百万ドル)	2024年3月31日までの3ヶ月間			2024年3月31日までの3ヶ月間	
	税引前	所得税	純	利益	
	利益		益	希釈後、一株当たり	
GAAP	\$ 122	\$ (85)	\$ 37	\$	0.06
以下調整済み：					
投資の MTM 調整	227				
ヘッジの MTM 調整および支払額	27				
負債償還による損失	4				
GAAP に基づかない	\$ 380	\$ (92)	\$ 288	\$	0.45

(株式データを除き単位は百万ドル)	2023年3月31日までの3ヶ月間			2023年3月31日	
	税引前	所得税	純	までの3ヶ月間	
	(損失) /利益		(損失) /利益	(損失) /利益	
GAAP	\$ (506)	\$ 143	\$ (363)	\$	(0.57)
以下調整済み：					
投資の MTM 調整	(122)				
ヘッジの MTM 調整および支払額	(41)				
負債償還による損失	22				
パイロット契約の一回限りの費用	864				
GAAP に基づかない	\$ 217	\$ (53)	\$ 163	\$	0.25

## 税引前利益率、調整済み：

	2024年3月31日		2023年3月31日	
	までの3ヶ月間		までの3ヶ月間	
税引前利益率		0.9 %		(4.0) %
以下調整済み：				
サードパーティの精油所売上		0.3		0.1
投資の MTM 調整		1.6		(1.0)
ヘッジの MTM 調整および支払額		0.2		(0.3)
負債償還による損失		—		0.2
パイロット契約の一回限りの費用		—		6.8
税引前利益率、調整済み		3.0 %		1.8 %

**営業キャッシュフロー、調整済み：**経営陣はこの種の調整を行うことが投資家の皆様にとって有効な判断材料になると考えているため、デルタ航空は調整済み営業キャッシュフローを明らかにしています。

特定空港の建設プロジェクト等に関連する正味キャッシュフロー：特定空港の建設プロジェクトに関連するキャッシュフローを、GAAP の営業活動に含んでいます。これらの項目は主として空港建設に限定された現金でまかなわれましたが、これらについて調整することで、提示している期間内の業務に大きく関連する、デルタ航空の営業キャッシュフローについて投資家の皆様がより良く理解できるようになると考えました。

パイロット契約に伴う支払い：2023 年 3 月にデルタ航空のパイロットは 2023 年 1 月 1 日から有効な 4 年間のパイロット雇用契約を承認しました。この契約には 2023 年の第 1 四半期中の承認時に一時金として 7 億 3500 万ドルを支払うことも定められています。これに伴う調整により、投資家の皆様が継続的なキャッシュフローをより良く理解できると考えたからです。

(単位：百万ドル)

	2024 年 3 月 31 日		2023 年 3 月 31 日	
	までの 3 ヶ月間		までの 3 ヶ月間	
営業活動によるキャッシュフロー、正味	\$	2,408	\$	2,235
以下調整済み：				
特定空港の建設プロジェクト等に関連する正味キャッシュフロー		70		(28)
パイロット契約に伴う支払い		—		735
営業活動による正味キャッシュフロー、調整済み	\$	2,478	\$	2,942

**フリーキャッシュフロー**：デルタ航空ではフリーキャッシュフローを提示していますが、これは経営陣が、同指標によって、投資家の皆様が債務返済や全般的な企業活動に利用できる弊社の現金創出能力を評価しやすくなると考えているためです。フリーキャッシュフローは社内インセンティブ報酬プログラムの一部にも使用しています。フリーキャッシュフローとは営業活動と投資活動による正味現金に対して、(i) 短期投資の購入（償還）、正味、(ii) 特定の空港建設プロジェクトおよびその他、(iii) 融資による航空機獲得、(iv) パイロット契約に伴う支払いに関連する調整を行ったものです。この種の調整は以下の理由で行っています。

短期投資の正味購入/（償還）：短期投資の正味購入/（償還）額は、収益と損失を含む当期間中の投資および有価証券の正味購入・売却金額を表します。これに伴う調整により、投資家の皆様が営業活動で得たフリーキャッシュフローの状況をより良く理解できると考えたからです。

特定空港の建設プロジェクト等に関連する正味キャッシュフロー：特定空港の建設プロジェクトに関連するキャッシュフローを、GAAPの運転支出および資本支出に含んでいます。これらの項目は主として空港建設に限定された現金でまかなわれましたが、これらについて調整することで、提示している期間内の業務に大きく関連する、デルタ航空のフリーキャッシュフローと資本支出について投資家の皆様がより良く理解できるようになると考えました。

航空機取得のための資金調達：この調整は資本支出としてリースされている航空機の納入を反映したものです。調整は当初の契約購入金額または航空機の見積り評価額に基づいており、弊社の投資活動をよりわかりやすくします。

パイロット契約に伴う支払い：2023年3月にデルタ航空のパイロットは2023年1月1日から有効な4年間のパイロット雇用契約を承認しました。この契約には2023年第1四半期中の承認時に一時金として7億3500万ドルを支払うことも定められています。これに伴う調整により、投資家の皆様が継続的なフリーキャッシュフローをより良く理解できると考えたからです。

(単位：百万ドル)	2024年3月31日		2023年3月31日	
	までの3ヶ月間		までの3ヶ月間	
営業活動によるキャッシュフロー、正味	\$	2,408	\$	2,235
投資活動に使用したキャッシュフロー、正味		(637)		(1,100)
以下調整済み：				
短期投資の正味購入/（償還）		(546)		102
特定空港の建設プロジェクト等に関連する正味キャッシュフロー		154		19
航空機取得のための資金調達		—		(137)
パイロット契約に伴う支払い		—		735
フリーキャッシュフロー	\$	1,378	\$	1,853

**支払金利、税金、減価償却、資産償却、賃料計上前利益（「EBITDAR」）に対する調整済み負債の比率、調整済み**：デルタ航空はEBITDARに対する調整済み負債を明らかにしています。これは、同指標が、投資家の皆様が弊社の全体的な負債状況を評価するのに役立つと経営陣が考えているからです。調整済み負債には、オペレーティングリース負債と売上リースバック負債が含まれています。GAAP営業利益に減価償却と資産償却分を追加し、オペレーティングリース費用の固定部分を調整してEBITDARを計算しています。

(単位：十億ドル)	2024年3月31日		2023年12月31日	
負債とファイナンスリースの債務	\$	19.4	\$	20.1
および：オペレーティングリース負債		6.9		7.2
および：売上リースバック融資負債		1.9		1.9
調整済み負債	\$	28.3	\$	29.3

(単位：十億ドル)	2024年3月31日		2023年12月31日	
	までの1年間		までの1年間	
GAAPに基づく営業利益	\$	6.4	\$	5.5
以下調整済み：				
パイロット契約の一回限りの費用		—		0.9
調整済み営業利益		6.4		6.3
以下調整済み：				
減価償却		2.4		2.3
オペレーティングリース費用の固定部分		1.0		1.0
EBITDAR	\$	9.8	\$	9.6
EBITDARに対する調整済み負債の比率		2.9倍		3.0倍

**税引後の投下資本利益率（「ROIC」）**：税引後の投下資本利益率は、業界水準に照らし合わせて弊社の投資回収能力を分析する上で有効な指標と経営陣が判断したため提示しています。投下資本利益率は課税対象となる税引前調整済み利益合計を調整済み平均投下資本で除算したものです。調整済み平均投下資本は過去5四半期末の調整済み簿価資本の合計に対して、他の総合的な利益に含まれる年金の影響分を調整したものです。調整済みの平均負債総額は過去5四半期末の金額を基に計算します。ROIC算出のためのあらゆる調整は弊社業績と航空業界の業績との有意義な比較を行うためのものです。

退職金に伴う保険数理上の損失償却：この調整は弊社の福利厚生制度における保険数理上の利益/損失に関するものです。こうした調整によって福利厚生制度において発生した過去の予測と実績の差を解消できるため、投資家は当該期間中の弊社の主要な業績をより良く理解することができます。

正味利息費用と航空機レンタルに含まれている利息費用：この調整は負債に対する利息費用と融資取引に関連するものです。こうした調整によって弊社の資本構造による影響を解消できるため、投資家は当該期間中の弊社の主要な業績をより良く理解することができます。

(単位：百万ドル)	2024年3月31日 までの1年間		2023年3月31日 までの1年間		2024年 第1四半期と 2023年 第1四半期の 比較 増減
税引前利益	\$	6,235	\$	2,609	
以下調整済み：					
投資のMTM調整		(913)		514	
ヘッジのMTM調整および支払額		16		(8)	
負債償還による損失		46		97	
パイロット契約の一回限りの費用		—		864	
再編費用		—		(118)	
退職金に伴う保険数理上の損失償却：		243		290	
正味利息費用と航空機レンタルに含まれている利息費用：		1,182		1,329	
調整済み税引前利益	\$	6,808	\$	5,578	
税引後		(1,552)		(1,333)	
税引後調整済み税引前利益	\$	5,256	\$	4,245	
調整済み簿価資本	\$	15,393	\$	12,074	
調整済み平均負債総額		22,729		26,545	
調整済み平均投下資本	\$	38,122	\$	38,619	
税引後の投下資本利益率		13.8 %		11.0 %	2.8

#### プレミアムプロダクトと多様な収益源に関する調整済みの営業収益

(単位：百万ドル)	2024年3月31日 までの3ヶ月間	
営業収益	\$	13,748
以下調整済み：		
サードパーティへの精油所売上		(1,185)
調整済み営業収益	\$	12,563
メインキャビンの収益を除外		(5,425)
プレミアムプロダクトと多様な収益源に関する調整済みの営業収益	\$	7,138
プレミアムプロダクトと多様な収益源に関する調整済みの営業収益率		57 %

## 燃料以外の調整済み費用と燃料以外の単位費用または有効座席マイル当たりの費用 ("CASM-Ex")

以下に示す理由により、上記および以下に記載する項目について営業経費と CASM を調整しています。

航空機用燃料と関連税：燃料価格の変動性は、前年比の財務実績の比較可能性に影響を及ぼします。燃料費や関連税の調整によって、投資家は燃料以外のコストと前年比の財務実績を理解し、分析することができます。

プロフィットシェアリング：利益分配（プロフィットシェアリング）費用の調整によって、投資家の皆様が弊社の経常費用のコストパフォーマンスについて理解・分析しやすくなり、主要な経費を航空業界基準と有効に比較できるようになります。

(単位：百万ドル)	2024年3月31日 までの3ヶ月間	2023年3月31日 までの3ヶ月間
営業経費	\$ 13,134	\$ 13,036
以下調整済み：		
航空機用燃料と関連税	(2,598)	(2,676)
サードパーティへの精油所売上	(1,185)	(916)
プロフィットシェアリング	(125)	(72)
パイロット契約に伴う一回限りの費用	—	(864)
燃料以外の費用	\$ 9,227	\$ 8,506

	2024年3月31日 までの3ヶ月間	2023年6月30日 までの3ヶ月間	2023年3月31日 までの3ヶ月間	2024年 第1四半期と 2023年 第1四半期の 比較 %増減
CASM (単位：セント)	20.04	18.97	21.25	
以下調整済み：				
航空機用燃料と関連税	(3.96)	(3.65)	(4.36)	
サードパーティへの精油所売上	(1.81)	(1.40)	(1.49)	
プロフィットシェアリング	(0.19)	(0.86)	(0.12)	
パイロット契約の一回限りの費用	—	—	(1.41)	
CASM-Ex	14.08	13.06	13.86	1.5 %

	2023年12月31日 までの1年間
CASM (単位：セント)	19.31
以下調整済み：	
航空機用燃料と関連税	(4.07)
サードパーティへの精油所売上	(1.24)
プロフィットシェアリング	(0.51)
パイロット契約の一回限りの費用	(0.32)
CASM-Ex	13.17

## 調整済み営業経費

(単位：百万ドル)	2024年3月31日 までの3ヶ月間	2023年3月31日 までの3ヶ月間
営業経費	\$ 13,134	\$ 13,036
以下調整済み：		
サードパーティへの精油所売上	(1,185)	(916)
ヘッジの MTM 調整および支払額	(27)	41
パイロット契約の一回限りの費用	—	(864)
調整済み営業経費	\$ 11,923	\$ 11,296

## 燃料費合計、1 ガロン当たりの調整済み平均燃料価格

(ガロン当たりのデータを除き単位は百万ドル)	1 ガロン当たりの平均燃料価格					
	3月31日		% 増減	3月31日		% 増減
	までの3ヶ月間	までの3ヶ月間		までの3ヶ月間	までの3ヶ月間	
	2024年	2023年		2024年	2023年	
燃料費合計	\$ 2,598	\$ 2,676		\$ 2.79	\$ 3.01	
以下調整済み:						
ヘッジの MTM 調整および支払額	(27)	41		(0.03)	0.05	
調整済み燃料費合計	\$ 2,571	\$ 2,718	(5)%	\$ 2.76	\$ 3.06	(10)%

**資本支出合計:** 資本支出合計を特定するため、以下に記載した理由で以下の項目の資本支出を調整しています。

航空機取得のための資金調達: 資本支出としてリースで取得している航空機の納品を反映するために資本支出を調整しています。調整は当初の契約購入金額または航空機の見積り評価額に基づいており、弊社の投資活動をよりわかりやすくします。

特定空港の建設プロジェクトに関連する正味キャッシュフロー: 特定空港の建設プロジェクトに関連するキャッシュフローが資本支出に含まれています。これら空港建設プロジェクトの資本支出の一部は当該プロジェクトに限定された現金、またはサードパーティによる補填分でまかなっていることを投資家の皆様にお伝えすべきだと経営陣が判断したため、こうした項目を調整しています。

(単位: 百万ドル)	2024年3月31日		2023年3月31日	
	までの3ヶ月間		までの3ヶ月間	
前払い金を含む航空機材	\$	883	\$	630
不動産および技術を含む装置		310		370
以下調整済み:				
航空機取得のための資金調達		—		137
特定空港の建設プロジェクトに関連する正味キャッシュフロー		(83)		(48)
資本支出合計	\$	1,110	\$	1,090

**調整済み純負債:** デルタ航空では金融債務の予測値を提示するために、調整済み負債やファイナンスリースに加え、航空機のレンタル料を含む、調整済み負債総額を採用しています。デルタ航空は調整済み負債合計総額から現金、現金相当物、短期投資、LGA 制限付き現金を減額しています。その結果、調整済み純負債は、負債負担に必要な資本額を示すこととなります。経営陣は同指標により、投資家の皆様が弊社の全体的な負債状況を評価するのに役立つと考えています。

(単位: 百万ドル)	2024年			2023年		\$ 増減
	2024年3月31日	2023年12月31日	2023年3月31日	第4四半期の比較		
負債とファイナンスリースの債務	\$ 19,364	\$ 20,054	\$ 21,958			
および: 売上-リースバック融資負債	1,875	1,887	1,924			
および: 未償却割引 / (プレミアム) および債券発行費用、正味、その他	69	83	120			
調整済み負債とファイナンスリースの債務	\$ 21,308	\$ 22,024	\$ 24,002			
および: 7x 型の 12ヶ月間の航空機レンタル料	3,752	3,724	3,627			
調整済み負債総額	\$ 25,060	\$ 25,748	\$ 27,630			
現金、現金相当物、短期投資を除外	(4,465)	(3,869)	(6,612)			
LGA 制限付き現金を除外	(376)	(455)	(54)			
調整済み純負債	\$ 20,219	\$ 21,424	\$ 20,964	\$ (1,205)		